



学校地域応援団ってなに？

学校・PTA・地域の行事を支援することにより、PTA や地域の方々とコミュニケーションを図り、子供たちと地域をつなぐ役割をしている団体です

— コロナ感染拡大の3年間を経て —

北野小学校学校地域応援団 事務局長 沢崎俊之

新年明けましておめでとうございます。事務局長の沢崎俊之です。前回の「たより」の発行が令和2年9月ですので、3年ぶりの発行となります。

北陸地方の大地震、羽田空港での航空機衝突・炎上事故といった、思いもしない形での苦難から令和6年はスタートしました。このように災害・事件・事故は私たちが「当たり前」と思う日常が当たり前でないことを教えてくれます。

コロナ感染拡大の3年間も私たちの今までの日常を崩し、「新しい生活様式」の創造へと向かいました。その変化にはプラス・マイナスの両側面がありますが、そのなかでも北野小学校学校地域応援団が一貫して大切にしてきたことは「人と人とのつながり」です。

令和4年度の活動では、嬉しいことに「応援団サポーター」として、卒業生保護者が複数参加され、金町公園花壇整備や70周年記念事業での風船飛ばしのお手伝いなどの活動を一緒にすることができました。1年生に対しての「地域の安全」の授業や3年生の「総合的学習の時間」での金町公園花壇の花植えなども継続実施できました。

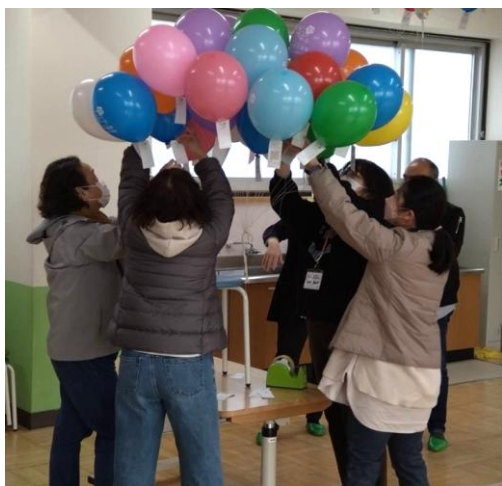
これからも「応援団サポーター」、12名の事務局員とともに、活動をすすめていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

開校70周年記念イベント

「風船飛ばし」のお手伝いを行いました！

11月25日（土）に行われた 北野小学校開校70周年記念イベントの1つでもある「風船飛ばし」で風船にメッセージカードを付けるお手伝いを行いました！

うめのみプレイルームで、子供たちに書いてもらったメッセージカードを600個の風船1つ1つに手作業で貼りつけました。天気も良く、青空の中を色とりどりの風船が飛ぶ光景は、子供たちにとって忘れられない思い出になったと思います。



1年生と保護者に向けて「がっこうのまわりの あんぜん」についてのお話し会を行いました



7月8日のセーフティ授業の時間に恒例の「がっこうのまわりのあんぜん」授業を行いました！

放課後に遊びに行く時に保護者の人に行き先を言えるように「公園の名前クイズ」をしたり、交通安全やひまわり110番についてのお話をしました。

子供たちに気を付けてもらう事と同様に、私達大人も見守りを心がけていかないと！と気を引き締めました。



3年生の「総合的学習の時間」で 一緒に金町公園花壇での花植えをしました！

PTA 顧問 学校地域応援団事務局 馬 木 純 二

北野小学校の夏休みが終わるころにいつも「今年も三年生の花植え学習はあるのだろうか。何を植えてもらおうか」と考えます。行きつくところ葛飾区公園課が配付する中から無難な花を選ぶことになります。

今年は、昨年同様デージーにしました。^{わいせい ほろくせい}矮性で葡萄性でもなく自分が植えた株が直ぐに分かるということで決めました。しかしながら昨年と同じというのが少し気になって、もう少し知識を付け加えることにしました。つまり、植え付け前にみんなに、デージーの原産国。国花にしている国は。では日本の国花は。では都の花は。などなど

植え付けは12月5日の1時間目から3時間目まで行われました。花壇前に集合した後自己紹介をし、デージーのウンチクを述べ、植え方を教え一人一株を植えていただきました。デージーの色は赤、ピンク、白があったので好きな色を選び植えてもらうことにしました。毎年同じですがほとんどの三年生が初めての経験で少し戸惑う児童もいましたが、何とか無事に終わりました。

今後は凍てつく極寒の真冬を乗り切り春にすくすくと成長してくれるように、見守りたいと思います。

併せて児童たちには、この活動を機会に花植えや花卉に興味を抱く人に成長してほしいものです。

